



経営コンサルティング

(株)中央人事総研

WITHコロナ時代、 今の時期こそ、社内の総点検をしよう

■WITHコロナ時代の非常事態における社内でもやるべき5つの総点検のポイント

- ① 会社のビジョンや方針は明確で、全社員に伝わっているか
非常事態におけるほど社員は不安である。「この会社は大丈夫か」「給料が下がるのではないか」「契約が打ち切られるのでは」とこの時こそ経営者の思いや考えを社員に明確に伝えるべきである。そうすることによって社員は安心して行動し始める。
- ② 将来の会社を支えてくれる幹部社員が2割以上いるか
冷静に社員の顔を思い浮かべてほしい。今の現勢で10年後の先まで戦える貴重な幹部が2割以上いるかどうか、もし戦えなければ別の階層からどのように鍛えていくか、あるいは中途や新規で新たな人材を採用するか考えてほしい。
- ③ 社員の貢献度と仕事を評価する明確な基準はあるか
社員が懸命に働いた成果を会社がきちんと評価する基準があるか。この基準がない会社は社員が不自信を持ちやる気なくなってしまう。優秀な社員ほど早く去るだろう。そうならないために社員の仕事の貢献度を明確に評価する基準を作してほしい。
- ④ 社員のライフプランに沿った雇用形態や働きやすい環境づくりはあるか
コロナ禍において在宅勤務などの新たな働き方が求められている。時代に合わせた新しい働き方を会社は準備しなければならなくなる。同時に正社員・契約社員・短時間社員・プロジェクト社員などといった新しい雇用形態も採用枠として検討すべきである。

⑤ 社員が自ら考え、チャレンジできるような仕組みがあるか
社長人が頑張っている会社は成長しない。だからこそ社員が経営者のような意識で仕事に立ち向かうことが重要である。社員が自分で考えて、積極的に行動していきけるような仕組みがあるだろうか。これがある会社の成長発展は揺るぎないものになる。

以上の5つのポイントを社長と幹部が膝を突き合わせて、自分の会社の現場をつかむことだ。できていないところがあれば、優先順位を決め、誰がいつまでに作るのか計画を立てることが必要である。コロナ禍の中で社員全員で力を合わせてこの難関を乗り越えてほしい。今が変化の時である。



(株)中央人事総研代表取締役 大竹英紀
平成16年、株式会社中央人事総研研究所設立。平成22年、株式会社中央人事総研代表取締役就任。120社以上の様々な業種のコンサルティング実績あり。各企業の良さを引き出しながら、人事制度構築と運用・経営計画策定・社員教育などの支援を展開中。定着率2倍以上の向上の成果を残す。書籍「今いる社員で成果を上げる中小企業の社員成長支援制度」を2019年3月に合同フォレストより発刊【お問い合わせ】
(株)中央人事総研 0599-70-6777
URL <http://www.chuosoken.com>